

浜松市図書館ビジョン

HAPPY LIFE WITH YOUR LIBRARY



平成30年10月
浜松市
中央図書館

【図書館から市民のみなさんへの約束】

～ あなたが、あなたらしく生きるために ～

図書館は…

- 👉 あなたと『困った』を解決します。
- 👉 あなたと『うれしい』を育てます。
- 👉 あなたと『楽しい』を見つけます。

図書館は、ひとりひとりの人生に寄り添い、昨日より今日、今日より明日、あなたが『少し幸せ』になることを願っています。

それぞれの『少し幸せ』が重なりあって、浜松市の『たくさんの幸せ』が創られていきます。

目 次

市民の図書館未来宣言	1
------------	---

目指す方向性と実現するための施策	2
------------------	---

《いかす》	2
-------	---

～未来のショート・ストーリー

「忙しい毎日の中の、大切なわたしの時間。」～

実現のために、図書館はこうします

- 1 ICT（情報通信技術）を活用した図書館サービス 3
- 2 貸出、返却サービスの利便性向上 4
- 3 多文化サービスの推進 4
- 4 多様なニーズに対応した環境づくり 5

《はぐくむ》	6
--------	---

～未来のショート・ストーリー

「図書館を通じて、変化していく自分を楽しむ。」～

実現のために、図書館はこうします

- 1 子供の読書環境の充実
～『子ども読書活動推進計画』の促進～ 7
- 2 子育て支援サービスの充実 7
- 3 ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催 8
- 4 多様な資料の収集・提供 9

《つながる》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

～未来のショート・ストーリー

「まちの元気は、“つながる”図書館から。」～

実現のために、図書館はこうします

- 1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携・・・・・・・・ 11
- 2 課題解決支援サービスの充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 3 政策立案支援サービスの推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 4 地域・歴史資料の収集、保存、活用・・・・・・・・・・・・ 12
- 5 自治体、企業、各種団体との連携・・・・・・・・・・・・ 13

《つくる》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

～未来のショート・ストーリー

「図書館の未来は、わたしたちがつくる。」～

実現のために、図書館はこうします

- 1 地域の実情に応じた図書館運営・・・・・・・・・・・・ 15
- 2 図書館マネジメントの充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 3 専門的職員の育成、確保・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 4 図書館プロモーションの充実・・・・・・・・・・・・ 16
- 5 図書館評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

資料編

- 1 体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 2 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 4 市民ワークショップ記録・・・・・・・・・・・・ 45
- 5 図書館協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

市民の図書館未来宣言

《いかす》

わたしは、毎日の生活を潤すために
図書館機能を活用します

《はぐくむ》

わたしは、図書館で『知る』ことを
楽しみ、地域の中で成長します

《つながる》

わたしは、図書館で『人』と『情報』
と『地域』とつながります

《つくる》

わたしたちの図書館を、未来に向け
てつくります

目指す方向性と実現するための施策

《いかす》

わたしは、毎日の生活を潤すために図書館機能を活用します

未来のショート・ストーリー

忙しい毎日の中の、大切なわたしの時間。

我が家は夫婦共働き、子供たちもまだまだ手がかかる年頃で、目が回るような日々を送っている。図書館にでかけて、居心地のいい館内でゆったりと過ごす時間が大好きだけれど、今はなかなかその余裕が持てていない。

仕事や子育てなどで知りたいことがあって、参考になる本はないかな？と思ったとき、家事が一段落した時間に利用するのが、図書館のホームページ。蔵書検索で、使えそうな本を見つけたら、その場で予約。職場近くの図書館を指定すれば昼休みに受取りができる。予約した本が用意できるとメールで知らせてくれて、夜遅い時間でも、予約本受取り専用のスポットでセルフ貸出しができるので便利。借りた本を期限内に返すのがちょっと面倒だけど、返却期日が近づくとメールで知らせてくれるし、近所のスーパーなど図書館以外の場所にも返却スポットがあちこちに設置されているので、返し忘れたことがないのが密かな自慢。

ホームページの新作図書案内や検索で偶然見つけた本から新たな興味も広がって、忙しい中にも楽しみがちょっと増えた感じがする。

それから、最近のお気に入りには電子図書※。英語の電子図書は音声で聴けるものもあるので、こっそり通勤のバスの中で英語の勉強を始めている。返却期日になると自動的に返却されるから、返す手間も省ける。活字の図書と使い分けて借りるのが私流。時間もお金も節約できていて、我ながら図書館をうまく活用していると思う。

※電子図書：書籍を電磁的に記録し、パソコンやスマートフォンなどを利用して視聴するもの



実現のために、図書館はこうします

- ICT(情報通信技術)をいかした、安全、確実な図書館システムを構築し、図書館ネットワークや貸出しからレファレンスまでのすべての図書館サービスの適正化、効率化を図ります。
- 誰もが利用しやすい、ユニバーサルデザインに配慮したきめ細かなサービスを提供します。
- 多様なニーズを持った利用者にとって、図書館がより身近で温かく親しみやすい居場所となるような環境づくりに努めます。

1 ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービス

急速に普及しているICT(情報通信技術)を積極的に活用し、市民が必要な時、必要な情報を的確に得られるサービスを提供します。現行サービスの利便性を高めるとともに、新たなサービスの展開を目指します。

《事業・取組》

- 1 利用者ニーズに寄り添った図書館システムの利便性向上
- 2 図書館ホームページやSNS※等を使った市民へのタイムリーで積極的な発信
- 3 図書館内ICT環境の整備

*** みなさんからの意見 ***

- 貸出機能の充実。(電子図書=47.3%が希望)
(広聴モニターアンケート※で回答が多かったもの)
- 利用者カードのかわりになるアプリがあったらいい。
(市民ワークショップ)
- 自分の貸出履歴が見られるとよい。
- Wi-Fi、PCを導入してほしい。
- スマートフォン用のホームページがほしい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)

※広聴モニターアンケート:市内在住の広聴モニターを対象に2回のアンケートを実施。
概要は資料編に掲載。

※SNS: Social Networking Service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の略。インターネットを介して人間関係を構築する場を提供するサービスで、フェイスブックやツイッターなどがある。

2 貸出、返却サービスの利便性向上

図書館サービスの根幹である資料の貸出、返却サービスのさらなる利便性向上を図ります。これまで時間的・物理的な制約により図書館利用が困難であった市民を潜在的な利用者層と捉え、新たなニーズの掘り起こしを目指します。また、高齢世代・障がいのある人の視点に立った環境整備を行います。

《事業・取組》

- 1 自動車文庫(BM=ブックモバイル)※等の拡充
- 2 図書館以外の施設等にブックポストを設置

※自動車文庫(BM=ブックモバイル)：書架を装備した車両により学校や福祉施設等を訪問し、書籍の貸出しや読書相談などを行うサービス

*** みなさんからの意見 ***

- 図書館に行く時間がない。
- 開館時間が自分のライフスタイルにあわない。
- スーパー、コンビニなどよく行く場所へ予約資料受け取り場所・返却ポストを設置してほしい。

(広聴モニターアンケートで回答が多かったもの)

- 仕事帰りに立ち寄れるよう、閉館時刻を遅くしてほしい。
- 貸出期間を長くしてほしい。
- 予約した本をなかなか借りられないので、取り置き期間・貸出期間を短くしてほしい。

(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)

3 多文化サービスの推進

地域のニーズをもとに外国語資料・外国に関する資料、日本語学習に関する資料を収集、提供し、日本語以外を母語とする人たちや、地域で日本語教育を行うなど多文化共生社会を支える人たちへのサービスを推進します。外国人の持つ多様性や豊かな文化性を街の活力としていかし、日本人市民との相互理解を深め、誰もが住みやすい多文化共生社会の実現を目指します。

《事業・取組》

- 1 電子図書等を活用した多言語資料や日本語学習資料の充実と環境整備
- 2 通訳付ブックスタート、多言語でのおはなし会等の多文化サービス行事の充実

*** みなさんからの意見 ***

- 英語絵本の読み聞かせ回数を増やしてほしい。
- 外国人にも利用しやすいような工夫をしてほしい。
- 英語多読の資料を多くの館においてほしい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)
- 色々な国ごとの文化や地理などに関する本をコーナーにまとめて、それぞれの国の魅力がわかるようにPR。言語もバラエティ豊かな、世界地図を広げたような図書館に。

(市民ワークショップ)

4 多様なニーズに対応した環境づくり

利用者がそれぞれのニーズに沿って快適に図書館を利用できるよう、レイアウト等の工夫により、居心地のよい環境づくりに努めます。

《事業・取組》

- 1 親子で気兼ねなく利用できるよう、児童書エリアの改善
- 2 サイレントスペース(静かさを重視するスペース)、グループ利用スペースの設置
- 3 飲食コーナーの設置、改善
- 4 高齢世代や障がいのある人が利用しやすい環境づくり

*** みなさんからの意見 ***

- 飲食できるスペースや談話できるスペースがほしい。
- ゆったりと読めるソファなどの座席がほしい。
- 館内でクラシックやイージーリスニングを流してはどうか。
- 静かな環境の維持に努めてほしい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)
- 子供が騒いでも大丈夫なエリアがあるとよい。
- いらなくなった本を集めた図書スペースで飲食もできるようにすれば、本を汚す心配をせずにくつろぎやすくなる。

(市民ワークショップ)

《はぐくむ》

わたしは、図書館で『知る』ことを楽しみ、地域の中で成長します

未来のショート・ストーリー

図書館を通じて、変化していく自分を楽しむ。

定年を迎え自分の時間が持てるようになったので、じっくり広報紙をチェックしたら、子供たちに絵本を読み聞かせる図書館のボランティアの講座を発見。軽い気持ちで受講したら、絵本の世界の奥深さにすっかり魅了されてしまった。「本」が子供の「生きる力」を育むことを知り、子供と本をつなぐ活動にやりがいを感じている。ブックスタート※や読み聞かせを通じた、子供たちや親子との交流は思いのほか楽しい。

図書館には、子育て情報コーナーがあったり、親子が交流できるイベントや子供連れで参加できる色々な講座が開催されていたり……と、子育てを応援する雰囲気がある。自分も、ボランティアとして次世代のために役立っているのだと思えて、ちょっと嬉しい。

ボランティアを始めてから、様々な人が図書館で学んでいることを知った。郷土の歴史、作家や文学、絵本などの勉強会もあるらしい。グループでなく、個人で図書館の本などを使って学びを深めている人もいるようだ。図書館には「調べもの相談」のサービスがあるから、困ったときは相談できるし。

「学ぶ」などとかしこまらなくても、図書館で行っている展示やイベント、講座などに参加してみると、「ちょっとした発見」「ちょっとした出会い」がある。図書館には、年齢を重ねる中でいきいきと過ごすための“きっかけ”が用意されていると思う。この間参加した講座で、受講生の何人かと意気投合。小さな勉強会を立ち上げ、定期的に図書館に集まることにした。いつの日か、仲間と一緒に勉強の成果を発信したり、地域で役立たせたりできたら……と密かに目標をたてている。「ちょっとした」の積み重ねで、またひとつ成長できる気がする。

※ブックスタート：絵本を通じて親子が心ふれあうひとときを持つきっかけづくりとして、0歳児とその保護者に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動。



実現のために、図書館はこうします

- ❖ 未来の担い手である子供たちの「育ち」を支える読書環境づくりとともに、市民ひとりひとりの生涯にわたる自主的な学習活動を支援します。
- ❖ 人々の暮らしや地域づくりに役立つ様々な情報を集め、よりわかりやすく提供できるように、課題解決支援の機能充実を図ります。
- ❖ 多様化する情報ニーズや地域特性に応える蔵書の構築を目指します。

1 子供の読書環境の充実～『子ども読書活動推進計画』の促進～

公共図書館における児童サービスは、「すべての子供に読書の楽しさと喜びを提供すること」、「子供が《よりよく生きる力》を身につけることができるよう、本との出会いを中心に援助すること」をその目的としています。浜松市立図書館においても、平成23年度に策定した「第2次浜松市子ども読書活動推進計画」※に基づき、子供と本を結ぶための様々な取組を行ってきました。今後はそれらの取組をいっそう充実させ、子供及び子供を取り巻く大人たちに向けた働きかけを通じて、子供たちの《よりよく生きる力》を育むための読書活動をいっそう推進します。

《事業・取組》

- 1 「第2次浜松市子ども読書活動推進計画」の推進
- 2 ニーズに応じた実施方法の検討等、ブックスタート事業の推進
- 3 授業で活用できる資料と学校図書館支援事業の充実
- 4 図書館ホームページの「児童サービス」ページ等Webを使った情報発信
- 5 子供読書活動推進のための読み聞かせボランティア等の人材育成と連携

※第2次浜松市子ども読書活動推進計画：平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」などに基づき、平成23年度に策定。家庭、地域、学校、図書館等による読書活動支援の取組の指針となっている。

2 子育て支援サービスの充実

子供たちが地域で伸びやかに育つためには、子育てをする人が心のゆとりを持ち、子育てがしやすく楽しいとすることができるよう、周囲のサポートが必要です。図書館が子育てをする人にとって情報の拠り所となり、地域の人とつながることができる場所となるよう、資料収集と環境整備に努めます。

《事業・取組》

- 1 子育てに関する図書資料等、子育て支援情報の提供

2 子育て世代が利用しやすく、居心地よく過ごせる環境づくり、交流支援

3 子育て関係団体との連携

***** みなさんからの意見 *****

- いつ行っても子供が3人くらい集まったら、誰かがよみきかせをしているとよい。
- 子供用DVDの視聴コーナー、おもちゃや遊具がおいてある図書館。
- 子育て本の充実、保健所との連携。
- ベビーカーが使いやすい、授乳室がある。
- 子育て広場、保護者同士の交流・おしゃべりができる場所がある。
(市民ワークショップ)
- 子供向けサービスを利用して、自分では選ばないような絵本にたくさん出会えた。子供との触れ合いに役立っている。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)

3 ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催

図書館の持つネットワークや資料を活用し、利用者の多様なニーズに応じた、生活の質を高める各種講座や講演会を実施します。また、楽しみや生きがいづくりのきっかけとなる講座と資料の提供を行うなど、市民ひとりひとりの多様な学習活動に幅広く対応できる体制を整備します。

《事業・取組》

- 1 シニア世代向けに、社会とつながる“健康・医療”等のニーズに沿った講座や資料の提供
- 2 ビジネス世代向けに、ビジネス支援や生活充実のための資料・情報提供、講座開催
- 3 子育て世代向けに、親子で本や図書館に親しむきっかけとなる講座やイベントの実施
- 4 活字離れ・図書館離れが進む中学生・高校生が図書館に足を運ぶきっかけづくり
- 5 ライフスタイルに応じた資料の提供、講座等の実施

***** みなさんからの意見 *****

- 年齢や裕福であるかないかなどの枠を超えて、学べる環境を整えてくれたら、この街の教育や文化も素敵な方向へ変わっていただけるのでは。
- 講演会の企画を市民から募集してほしい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)

4 多様な資料の収集・提供

暮らしを豊かにする資料、学ぶ意欲に応える資料、課題解決に役立つ資料、地域特性に沿った資料、また、高齢世代や障がいのある人、日本語以外を母語とする人が活用できる資料など、市民ニーズの把握に努めながら、多様な資料の収集・提供を行います。さらに、コーナー設置やテーマ展示、調べ案内やブックリストの作成、図書館だよりやホームページ等での資料情報の発信などを通じて、利用者が資料にアクセスしやすい環境を整え、図書館資料を活用できる仕組みを充実します。

《事業・取組》

- 1 利用者アンケートの実施、分析、統計データの分析による利用者ニーズの把握
- 2 高齢世代や障がいのある人、日本語以外を母語とする人が活用できる資料の収集、提供
- 3 効果的なコーナー設置、テーマ展示の充実など資料にアクセスしやすい環境づくり

*** みなさんからの意見 ***

- 各図書館の蔵書の傾向に合った展示やアピール。
- 実用書（旅行・料理・医療、健康）の新しい本がみたい。
- 雑誌の種類と冊数の充実。
- 英語以外の言語の本をもう少し定期的に購入して増やしてもらいたい。
- 同一の本は上限数を設けて購入し、ほかの本の購入に充てるほうがよい。
- 予約数が多い本は冊数も多く購入してほしい。
- 一般のレンタルショップにないCD/DVDを充実してほしい。
- 大活字の本を好んで読んでいます。
- お年寄り向けの紙芝居をもっと増やしてほしい。

（浜松市立図書館利用に関するアンケート調査）

- 『〇〇の資料ではどこにも負けない』というようなプライドを持って収集することで、図書館は生き残っていけるのではないか。

（市民ワークショップ）

《つながる》

わたしは、図書館で『人』と『情報』と『地域』とつながります

未来のショート・ストーリー

まちの元気は、“つながる” 図書館から。

代々この商店街に店を構えて80年。地域に愛されてやってきたけど、ちょっとずつお客さんが減っているし、シャッターを閉じてしまった店舗もちらほら。ここは自分たち若い世代が盛り上げていかないと！でも、ここに来る人に何が求められているんだろう？これまで縁のなかった人たちを呼び込むための次の一手は何だろう？

他の店主さんの「図書館がビジネス支援や課題解決の手伝いをしているらしいよ」の一言がきっかけとなり、商店会長と一緒に図書館へ相談に。司書が紹介してくれたデータベースを眺めていると、なるほど、この街の人口動態や年齢構成、消費行動の変遷がよく分かる。

「こんな資料もありますよ」と司書が紹介してくれたのは、ビジネスやまちづくりの専門誌。中には、空き店舗をリノベーションしてアーティストの活動拠点にしたり、コミュニティスペースに活用したりと、貴重なヒントが盛りだくさん。「あの街の事例は参考になるね！」と、会長は早速先進地の視察を提案。頭の中には、街のみんなで創り上げるバラ色の商店街の風景が広がってくる。視察先の詳しい情報も、そのまま図書館で調べる事にした。

ふと図書館内を見渡すと、自分たち以外にもデータベースや本で調べたり、司書に相談したりしているグループがある。図書館内にはコワーキング※やコラーニング※、市民の交流スペースもあり、多くの人たちが利用していて、活気を感じる。聞けば、自分たちのように地域の活性化を目指している団体や、地域のボランティア活動グループ、ビジネスに役立つ情報を求めている人たちなど、様々な人が利用しているとのこと。図書館の利用が縁で交流するようになった人たちが企画・運営するイベントも、時々図書館で開催しているという。

図書館で『人』と『情報』と『地域』がつながって、まちが元気になっていくんだな。

※コワーキング：場所を共用しながら、個人事業者等が独立した仕事を行うワークスタイル。異業種の者が交流することにより新たな価値観や発想が生まれる創造的空間となる

※コラーニング：場所を共用する利用者が、対話や議論を交えながら互いに教え合い、学び合う学習スタイル



実現のために、図書館はこうします

- 学校、家庭、地域住民と相互の連携協力を図り、「市民協働による、市民のための図書館」を目指します。
- 情報と人、人と人をつなぎ、新たな価値を創出する情報交流拠点を目指して、専門的な情報やノウハウを持つ様々な関係機関・団体等との連携を進めます。

1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携

地域に身近な相談サービスや情報提供を行うコミュニティ機能を有した図書館として、地域住民の自主的・主体的な学習活動・交流の場となるべく、地域との連携を進めます。

《事業・取組》

- 1 市民が親しみやすい図書館の雰囲気づくり
- 2 地域情報の収集・提供と地域特性をいかした図書館サービスの充実
- 3 地域に根差したボランティアの育成と活動支援、協働

*** みなさんからの意見 ***

- 図書館にコミュニティスペースがあって、幅広く人と繋がることができれば、自分の知識や関心がさらに深まるはず。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)
- 図書館にまちの様々な情報を発信しているコーナーがあって、施設や場所、そこで活動している人の情報が紹介されていれば、新しいことを始めるきっかけになる。

(市民ワークショップ)

2 課題解決支援サービスの充実

身近な疑問から、法律や統計に関する調査まで、市民が図書館を積極的かつ自主的に活用できる環境づくりを目指します。また、関係機関との連携・協力体制のもと、課題解決支援サービスの充実を図ります。

《事業・取組》

- 1 商用データベース等を活用したレファレンスサービス※の充実、認知向上
- 2 専門家・専門機関を利用者に紹介するレフェラルサービス※の実施

※レファレンスサービス：利用者の求めに応じ、その調査相談等に対し図書館資料等を使って援助するサービス。

※レフェラルサービス：利用者の求めに応じ、求める資料・情報にアクセスできる地域内外の機関等を紹介するサービス。

*** みなさんからの意見 ***

- コワーキングスペースとしての展開を期待している。
- 専門家に調べものの相談ができるとよい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)

3 政策立案支援サービスの推進

政策決定や行政事務の執行など浜松市政運営に図書館の持つ力を役立てるため、必要な資料及び情報を積極的に収集し、的確に提供します。また、浜松市議会図書館との連携を進め、調査支援やレファレンスを通じ“ミニ国立国会図書館※機能”として、市議会議員の政策立案支援を行います。

《事業・取組》

- 1 市行政部局向け調査相談サービスや参考図書を紹介
- 2 市議会事務局、市議会議員向け図書館活用講座の実施、議員活動に役立つ資料の調査・提供
- 3 図書館での啓発活動や講座・イベント等、行政情報の発信、連携

※国立国会図書館：国内外の資料・情報を収集、保存することにより国会の活動を補佐するとともに、行政、司法及び国民に図書館サービスを提供している

4 地域・歴史資料の収集、保存、活用

本市の歴史や現状を記す貴重な資料である地域資料の積極的な収集、保存、提供を推進します。このため、重要な地域・歴史資料のデータベースの整理やデジタル化を推進するとともに、博物館等との連携、協力により、利用者の視点に立った、行政の組織を越えた公開方法や活用を構築します。市政に関する情報を収集・整理・提供し、住民自治の情報基盤施設としての機能を果たすために、関係部局との連携協力を努めます。

《事業・取組》

- 1 地域・歴史資料の収集・保存事業
- 2 浜松市文化遺産デジタルアーカイブ※整備事業
- 3 MLA連携※の推進
- 4 オープンデータ※化の推進
- 5 公文書管理の適正化及び公文書館整備構想の推進

※**デジタルアーカイブ**：貴重な文化財等をデジタル情報として記録・保存し、次世代に継承していくもの。デジタル化により、破損を恐れずインターネットで自由に閲覧することが可能となる。

※**MLA連携**：博物館（Museum）・図書館（Library）・文書館（Archives）の連携のこと。それぞれの頭文字をとってMLAと呼ばれる。いずれも文化的情報資源を収集・蓄積・提供する公共機関であるという共通点を持ち、情報資源のアーカイブ化等の課題を共有していることから、近年、連携の重要性が認識されてきている。

※**オープンデータ**：機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ。

5 自治体、企業、各種団体との連携

多くの利用者が日々訪れる図書館のメリットをいかして、関係機関との連携により、新たな情報に出会う場を提供します。

《事業・取組》

- 1 地域団体や各関係機関との連携による図書館事業の充実
- 2 浜松市の広域行政政策と連動した図書館連携の検討

《つくる》

わたしたちの図書館を、未来に向けてつくります

未来のショート・ストーリー

図書館の未来は、わたしたちがつくる。

市内の大学に通っている。司書資格取得のための勉強をしていることもあって、図書館で開催された“図書館の未来”を考えるワークショップに参加してみた。本は大好きだし、図書館も使っていたけれど、こんなにじっくり図書館と自分たちのことを考えたのは初めて。これまで、図書館はあって当たり前だと思っていたし、どんな図書館がほしいのかなんて、考えたことはなかった。

ワークショップを通じて、普段なら話をしない世代や色々な社会的立場の人たちと話ができて面白かった。話してみたら、みんな図書館に期待していることがたくさんあって、びっくり！

「専門のスタッフにもっと相談をしたい」とか、「図書館で人と交流したい」とか、「子供が気楽に来られるように、賑やかな方がいい」とか、「そもそも、図書館は本が充実していなければ」とか。逆に「ひとりで気兼ねなくすごしたい」、「静寂を希望」、「本棚ばかりでなく、飲食やイベントのスペースを充実させて」などなど、本当に幅広い意見があった。

すべての人の希望が叶う図書館にするのは、とても難しい。それでも、「図書館でできること」はまだまだありそうだし、自分たち市民の意見やアイデアも役に立つんじゃないかな。

未来の図書館をつくっていくためには、みんなが「私ごと」じゃなくて「私たちごと」の立ち位置で考えるのが大切だと、ワークショップで知った。

図書館の未来は、わたしたちみんなでつくるんだ！

実現のために、図書館はこうします

- 市民の声を聞きながら、地域ごとの実情に合わせた図書館のあり方を検討します。
- 「知の拠点」としての図書館機能の充実を図るために、施設整備、専門的職員の育成、確保など、効率的、効果的な図書館経営を推進します。
- 市民に開かれた運営を目指し、図書館サービスの戦略的広報の推進など、プロモーション機能の充実を図るとともに、図書館評価の見直しを行います。

1 地域の実情に応じた図書館運営

平成17年の合併により、本市は都市部、周辺部、中山間地域からなる広大な市域を有しており、北遠地域においても旧市町村ごとに図書館が設置されていますが、少子高齢化や過疎化の進展等により今後の利用状況に大きな変動が見込まれます。利用者アンケートや市民ワークショップ等により、図書館に対する市民の意見を聞きながら、地域の特性や状況の変動を把握し、地域の実情に応じた図書館運営を行います。

また、浜松市立図書館が将来にわたり市民から求められる役割を果たしていくため、浜松市公共施設等総合管理計画に基づき、図書館機能と施設のあり方を考えます。

《事業・取組》

- 1 地域特性や図書館を取り巻く状況、利用状況を勘案した調査・研究ならびに中長期的な整備・保全計画の策定
- 2 図書館施設の他の施設との複合化、民間活力導入の検討

*** みなさんからの意見 ***

- 古い建物の図書館を新しくしてもらいたい。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)
- 図書館建替え等の計画があれば示してほしい。
(市長へのご意見箱)

2 図書館マネジメントの充実

図書館業務の効率化の観点から進めてきた指定管理者制度の導入については、現在は、平成28年に開館した都田図書館も含め16館1分室が指定管理者制度による運営となっており、地域との連携と市民サービスの向上を図ってきました。

今後は指定管理者制度等の適正な評価と、図書館サービスの質の維持向上に向けて、個々の図書館の役割を明確にし、中央図書館の全館マネジメント能力と、それぞれの図書館が役割を果たすための機能を充実させます。

《事業・取組》

- 1 市と指定管理者とのビジョンの共有、パートナーシップの充実
- 2 中央図書館と地区図書館の役割の明確化と、目的に応じた機能充実

3 専門的職員の育成、確保

選書、レファレンス、窓口業務等、各業務において図書館司書に求められる専門的能力をさらに向上させるとともに、図書館サービスの企画・運営能力を高めるため、計画的な図書館内研修を実施します。また、児童サービスやレファレンス専門研修等、外部の研修会にも積極的に職員を派遣します。

《事業・取組》

- 1 職員の資質・能力の向上
- 2 図書館司書の確保と専門性の向上

*** みなさんからの意見 ***

- 専門の職員を配置して、図書館自体の質の向上を目指してほしい。
- 職員により知識に偏りがある。
(浜松市立図書館利用に関するアンケート調査)
- もう少し踏み込んだ本の相談にのってくれたり、利用者同士がコミュニケーションを図る手助けもしてくれればよい。
(市民ワークショップ)

4 図書館プロモーションの充実

ソーシャルメディア、広報紙等を利用した戦略的・計画的な情報発信により、多くの市民に様々な図書館サービスの周知を図り、活用を促します。また、普段図書館を利用されない方へも、図書館が身近で生活に密着したものであるという認識を持ってもらえるよう働きかけを行います。

《事業・取組》

- 1 関係機関との連携による図書館事業の充実
- 2 広報戦略の作成
- 3 浜松市が開催するイベントにおける「おでかけ図書館」や「出前講座」の開催

5 図書館評価

本ビジョンの進行管理を行うため、年度ごとに図書館評価を行います。

《いかす》《はぐくむ》《つながる》《つくる》に区分して目標値を定め、年度終了後に自己評価及び図書館協議会における外部評価を実施します。また、利用者アンケート調査を継続的に行い、市民の要望や意見を把握します。

なお、社会情勢の変化等に応じて適宜評価項目の変更や追加を行うものとします。

